

こすど公民館報

館知日 戸野良 町公民 小間月 須戸部 町公民 小間月 須戸部 町公民 小間月 須戸部

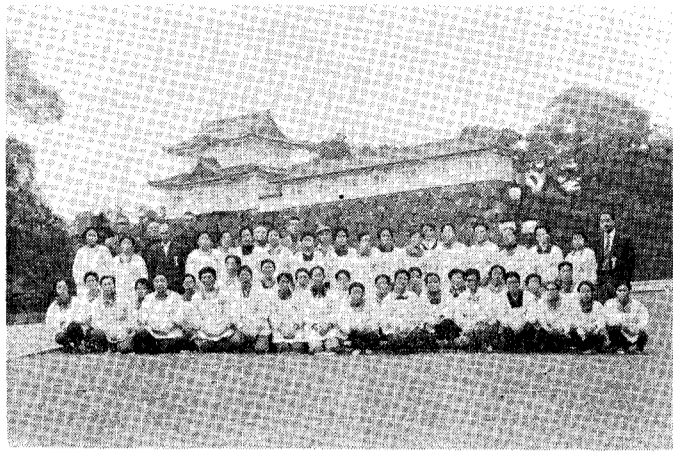
町民こそぞって 消費節約運動を

森田 吾一



中東戦争に端を発した石油危機に対し政府は十一月十六日国家的規模の石油、電力の消費節約運動を開始、その要綱を発表した。

制限を決めたことは世界に於いて深刻な問題を投げかけた。特に資源に乏しく殆んどを外国に依存している日本にとつては、一層深刻な問題である。「ニッポン殺すに弓矢も原爆もいらぬ、石油ニヶ月止めればすむ」とも言われている我が国にとつては大きな打撃に相違ない。



皇居奉仕

矢代田 児玉サツ子

落葉散る宮居のお庭浄めつゝ 奉仕する身の幸を思ふ

そのかみに想い馳せお官城の 同心番所に落葉掃きつゝ

みやしろに歌声のせり奥深く 侍りし我等の歌う君が代

こみの収集

年末年始は 休みます

年末は三十日から年始は三日まで休ませていただきます

11月の全体学習・講演会

長寿大学

十一月十六日、老人憩いの家、今年度七回目の全体学習を行いました。

仏教炭抗ぶし

作詩岩室勝蔵 海津良彦

田圃もようようかたづいたヨイ、じいさんばあさんご苦労さん

つかれなおしにお二人で温泉旅行はいかがですサノヨイ

二、(息子さん) 聞くは俺らが引き受けたヨイ、何の遠慮がいのるか

三、(じいさん) 聞いたか婆さん今のことヨイ、若い気持で出かけるか

四、(ばあさん) 久しぶりだよえいじいさんヨイ、たつた二人で水いらす

孫のみやげに何かおかお湯に平和の花が咲くサノヨイ

なごき かわいそうなお宮の松

町諏訪神社の境内を通るたびに心裏思いがす。すっかり赤やけけ枯れてしまった松が七本、

気息いんいですに臨終近いのが数本、全くかわいそうである。文字通り森を中心としたお宮の森をあらわしたものである。お宮やお寺はこ

の森が生命といつて過言ではない。樹木の不足などである。そこへもつてきて樹令ゆたかな(？)

地域で各種行事

分館だより

●球技大会 十一月二十五日(午前) 町民体育館で開催

●新保分館 十一月二十五日(午後) 町民体育館でバレーボールの部

●卓球の部 優勝 白井藤男

●分館施設の移転 新保分館が完成しましたので、併設された分館も、自動的に同所に移転いたしました。

●新保分館 十一月二十五日(午後) 町民体育館でバレーボールの部

●卓球の部 優勝 白井藤男

●分館施設の移転 新保分館が完成しましたので、併設された分館も、自動的に同所に移転いたしました。

●新保分館 十一月二十五日(午後) 町民体育館でバレーボールの部

●卓球の部 優勝 白井藤男

●分館施設の移転 新保分館が完成しましたので、併設された分館も、自動的に同所に移転いたしました。

●新保分館 十一月二十五日(午後) 町民体育館でバレーボールの部

●卓球の部 優勝 白井藤男

●分館施設の移転 新保分館が完成しましたので、併設された分館も、自動的に同所に移転いたしました。

●新保分館 十一月二十五日(午後) 町民体育館でバレーボールの部

●卓球の部 優勝 白井藤男

●分館施設の移転 新保分館が完成しましたので、併設された分館も、自動的に同所に移転いたしました。

●新保分館 十一月二十五日(午後) 町民体育館でバレーボールの部

●卓球の部 優勝 白井藤男

●分館施設の移転 新保分館が完成しましたので、併設された分館も、自動的に同所に移転いたしました。

●新保分館 十一月二十五日(午後) 町民体育館でバレーボールの部

●卓球の部 優勝 白井藤男

●分館施設の移転 新保分館が完成しましたので、併設された分館も、自動的に同所に移転いたしました。

●新保分館 十一月二十五日(午後) 町民体育館でバレーボールの部

町民卓球大会 盛大に開催

去る十一月十八日文化祭行事の一つである恒例の町民卓球大会が町民体育館において盛大に開催されました。

は地元選手はじめ新津、白根、五泉の各地からも強豪選手が派遣され日頃の練習の成果を十分に競い合いました。加えて初心者からの参加も頂き心から楽しませる珍プレーも続出し、心の交流がなされました。

結果は次の通り

赤ちゃん検診のお知らせ

十二月二十七日 役場二階 第三会議室

対象 四十八年五、六、八、九月に生まれた赤ちゃん

須戸小 奇特の話し

高司兵部一件

よく物を調べてほしいという方がおられる。ここに記す主人公は浅草雷門に住む、越後屋武兵衛から五代に当る子孫、西山俊夫氏である。先祖は新津市の百姓惣代武兵衛で高司一件のとはちりて江戸へ出て来た人で、親類があるわけでもなく、法名があるが菩提寺さえ不明で雲をつかむような話しである。このこされた古文書法名、石崎氏等の古文書手がかりに数年前から調べられたという。話しは

した曹洞宗正法寺は古い寺で寛政慈光寺末明応二年文明二年の草創である。山上村から永享元年大鹿村に移り殿様新津氏の菩提所でもある。慶長頃市役所附近、その後地震、火災等で四ノ丁へ、明治四十四年六月二十九日の火災で、現在の秋葉に移転。明治四十四年から完成は大正二年の建物である。法名に門前武兵衛等あり昔の墓などあるわけがなく、居屋敷跡ほどの時代など考察しているうちに西山氏は特急で来町大変更よる。ばれ、三日間滞在、五十嵐町長さんに謝意を表したり、新津市を始め関係のあるところを三日間にわたり案内した。

それにしても因縁である。高司兵部一件のおき「小屋場村」阿部某氏の運転、るハイヤーに乗ったのは、最近先祖など忘れ勝ちの中で、心あたたまる奇特の話しである。から風土記に書くことにした。

小須戸町に關係のある高司兵部一件の内容は次号に記す。

第二回元旦マラソン 多数の参加を

来年度の元旦に第二回町民元旦マラソン大会を開催し、午前十時役場前スタートです。

「体力作り」とは、気張ってやるものではありません。いつでもどこでもできるものです。朝の縄跳びや、仕事の合間でのちよつとした体操でもいい訳です。要はスポーツ心を失なわず、身近かなものから始めましょう。

家族ぐるみ、延いては職場、地域ぐるみの運動にしたいものです。そういう意味で、この元旦マラソンからぜひ参加日説明します。コースは当日説明します。

◇男性五十以上及び女性四十以上 ◇男性四十代 ◇男性三十代 ◇男性二十代 ◇一般男性及び中学男子 ◇小学生は、父兄同伴で参加ください。

◇申込 十二月二十七日 正午まで

◇申込場所 公民館へ

電話二二七〇番

